エコアクション２１

2024年度(第64期)　環境経営レポート

対象期間　2024年02月～2025年01月　　2025年4月8日　発行

確かな経験と技術

株式会社　旭光

Support Your Future And Dream

Kyokko Co., Ltd.

事業の概要

1. 事業者名

   株式会社　旭光
   代表取締役社長　長谷川　昌人

2. 所在地
   〒374-0133　群馬県邑楽郡板倉町岩田808

3. 環境保全関係の責任者及び担当者連絡先

代表責任者	：代表取締役社長	長谷川　昌人
環境管理責任者	：取締役工場長	穐村　好一
担当者	：EA事務局	齋藤　克敏

   TEL：0276-82-1727
   FAX：0276-82-1729

4. 対象範囲

   株式会社旭光　全組織・全活動

5. 事業活動
   航空機部品、宇宙関連部品、自動車部品
   高速車両部品の機械加工
   その他、各種試作・開発品、治具等の機械加工

6. 事業規模

従業員	：	42人
敷地面積	：	6,470㎡
延床面積	：	2,991㎡

環境経営方針

〈環境基本理念〉

1. 経営理念
「世界に誇る精度の高い製品を追求し、
常にお客さまに喜ばれる存在でありたい」
(1)お客さまの注文に感謝する。
(2)お客さまに絶対迷惑をかけない。
(3)お客さまを大切にする。

2. 環境行動指針
「私たちは、より環境に配慮した会社生活、家庭生活をします。」に基づき、生産活動において、地域社会への環境経営を追求し、お客さま、取引先、地域社会との相互信頼を基に人と我々の住む地球が健全に存続できる環境の実現に貢献いたします。

〈環境経営方針〉

1. 当社は、治具、各種機械部品の機械加工、サブ・アッセンブリーなどの製品及びサービスを行っています。これらの事業活動における各段階において、当社の一人一人が環境保全活動（汚染の予防）と環境マネジメントシステムの継続的改善に努めます。

2. 環境保全に関する法律ならびに当社が同意した顧客、地域社会等の要求事項を遵守します。又、必要に応じて自主的な環境目的・目標を設定し汚染の予防に努めます。

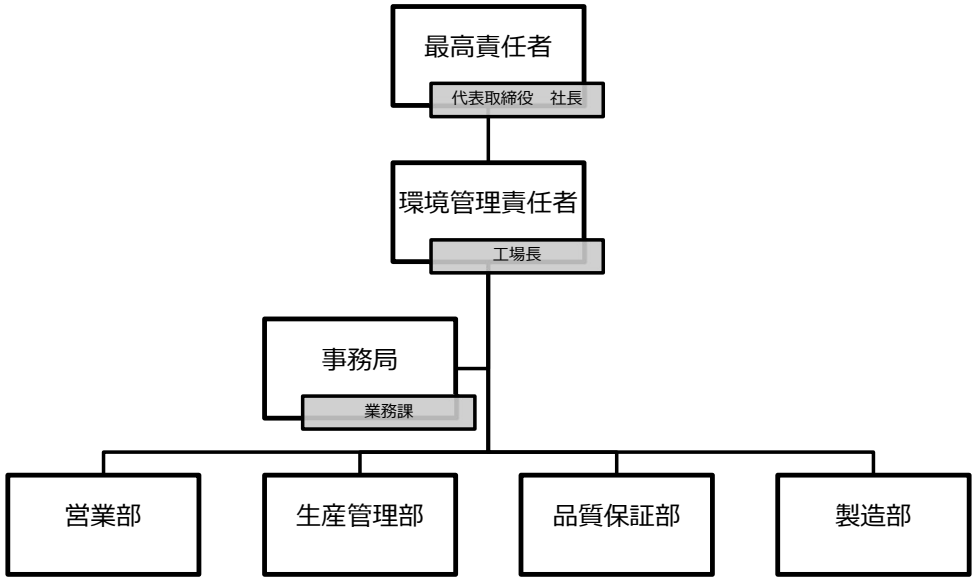
3. 循環型社会に沿った事業活動として、下記の項目をテーマとして取組みます。
(1)省エネルギーの推進
(2)廃棄物の適正な処理と削減
(3)環境負荷化学物質の削減

4. 環境経営方針は当社の全従業員にポスター等で周知徹底を図ります。

5. この環境経営方針はお客さま、取引先、地域社会の方々へも公開いたします。

改訂日　2025年4月1日
代表取締役社長　長谷川　昌人

エコアクション推進体制



役職	役割
最高責任者	①　環境管理責任者をはじめ、必要な責任者を任命する。該当責任者には、現在の責務に関わりなく、兼任で責任と権限を明示する。 ②　エコアクション21の構築・運用・維持に必要な経営諸資源（人材・資金・機器・設備・技術・技能を含む）を準備する。 ③　環境経営方針を制定する。 ④　エコアクション21の構築・運用に関する情報を収集し、環境経営方針・環境目標をはじめシステム全体の見直しを行い、必要に応じ改訂を指示する。 ⑤　経営における課題とチャンスを明確にする。
環境管理責任者	①　エコアクション21に関する経営諸資源の合理的・効果的な運用を図り、目的を達成するために環境委員会を運営する。 ②　エコアクション21の構築と運用を円滑に行い、最高責任者による見直しのための情報として、構築・運用に関する情報を最高責任者に提供する。
事務局	①　事務局として、環境管理責任者を補佐し、エコアクション21に関する実務全般を所管する。

環境目標・活動計画・達成状況

環境目標	単位	63期 実績 (基準値)	64期 活動計画	64期 実績	達成状況	中期目標 65期	長期目標 66期
加工高当たりの 二酸化炭素排出量 の削減	kg-co2/100万円	1330.74	基準値に対して 1%削減 (1237.70)	1103.27	17.09%減少	64期実績に対して 1%削減 (1317.45)	65期実績に対して 1%削減 (1304.28)
加工高当たりの 廃棄物排出量 の削減	kg/100万円	194.61	基準値に対して 1%削減 (181.01)	173.87	10.66%減少	64期実績に対して 1%削減 (172.13)	65期実績に対して 1%削減 (170.40)
水資源投入量 の削減	(m^3/年)	537	基準値に対して 1%削減 (532)	504	6.15%減少	64期実績に対して 1%削減 (499)	65期実績に対して 1%削減 (494)
工程不具合低減	件/年	-	6	6	達成	-	管理の徹底
化学物質取扱及び 管理の徹底	-	管理の徹底	管理の徹底	管理の徹底	管理の徹底	管理の徹底	管理の徹底
廃棄物の リサイクル率	-	100%	100%	100%	達成	100%	100%

計画に基づき実施した取組内容

環境目標	取組内容
加工高当たりの 二酸化炭素排出量の削減	①空調温度適正化・推進 ②照明・PC電源不要時のOFFの推進 ③エアコン清掃の実施 ④エコドライブ推進 ⑤社用車の点検・整備(定期点検時) ⑥電力、ガソリン量、その他の集計 ⑦目標達成状況・活動進捗状況確認 ⑧エアー漏れ点検
加工高当たりの 廃棄物排出量の削減	①分別ルールの徹底 ②廃棄物置場、各ゴミ箱の整備 ③廃棄物排出量の集計 ④目標達成状況・活動進捗状況確認 ⑤エコ活動
水資源投入量削減	①毎月のメータを確認する(漏水防止) ②節水表示
工程不具合低減	①不具合低減活動
化学物質取扱及び管理の徹底	①新規取扱品のSDS入手 ②毎月、購買量・消費量・在庫の確認

環境負荷実績

二酸化炭素排出量の実績と評価

	63期 実績	64期 実績	削減率
社内加工高(100万円)	326	347	6.44

電力使用量（kg-CO2）	400261	358975	-10.31
ガソリン（kg-CO2）	11641	12407	6.58
軽油（kg-CO2）	21716	11240	-48.24
LPガス（kg-CO2）	202	215	6.34
二酸化炭素排出総量(kg-CO2)	433820	382836	-11.75
社内加工高当たりの排出量 （kg-CO2/100万円）	1330.74	1103.27	-17.09

＊購入電力の排出係数は、0.385kg－CO2/Kwh
(株)エネット　令和4年2月17日環境省・経済産業省公表

取組結果の評価

二酸化炭素排出量は約17.09%の減少になった。
社内稼働時間増加していたが、電気使用量の大幅な減少がみられた。これは太陽光発電の本稼働の効果が現れたと考えられる。
また、老朽設備の更新や設備点検を定期的に行い消費電力の軽減を行っている。
社用車の使用は少ない傾向は変わらないが、一部軽油車をガソリン車に変更をした。

次年度への取組計画

電気使用量の削減と把握のため、電気使用量に関するグラフを作成・掲示をし、周知徹底と監視を行う。
太陽光発電量と電気使用量を表示し、節電効果を数値化していく。

環境負荷実績

廃棄物排出量の実績と評価

	63期 実績	64期 実績	削減率
社内加工高(100万円)	326	347	6.44

廃棄物排出量(kg)	63444	60334	-4.90
社内加工高当たりの排出量 (kg/100万円)	194.61	173.87	-10.66

取組結果の評価

廃棄物の量は10.66%減少した。
全社において、廃棄物の分別意識がかなり浸透している。
切粉においても分別を徹底しており、リサイクル率は100%を維持している。
また、工具をリサイクルすることにより、廃棄の減少とコスト削減に努めています。
さらなる産業廃棄物の削減に向けて、様々な活動に取組んでいます。

次年度への取組計画

新しいチームを発足し、今年度も廃棄量とコストの削減を推進していく。

環境負荷実績

水資源使用量の実績と評価

	63期 実績	64期 実績	削減率
水資源使用量(㎥)	537	504	-6.15
従業員数(人)	41	40	

取組結果の評価

水資源使用量は6.15%減少
今年度は漏水なし。
水の主な用途は水溶性の切削液と生活用水です。

今期も社員の節水への努力に取組んでいく。

次年度への取組計画

漏水のメーターチェック(検針時の水量把握)、節水の啓蒙を進める

エコ活動（切削工具の廃棄量削減）

○チームポリッシュ

	64期 実績
排出量(本)	744
新品(円)	6,185,010
再研磨(円)	1,475,010
差額(円)	5,055,290

再研磨専用の通箱を設置

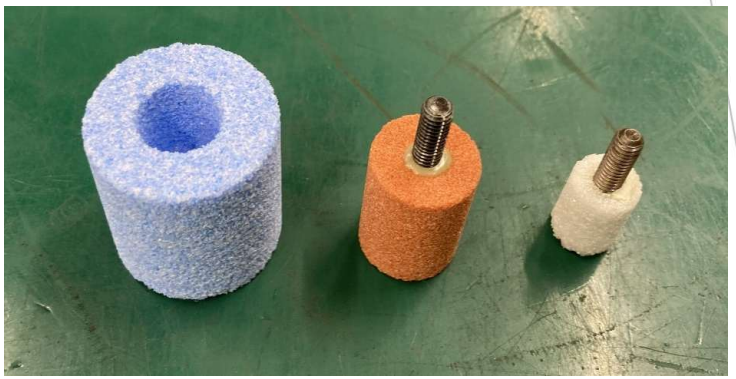
購入費を5,055,290円削減

エコ活動（研削砥石の再利用品作成）

○チーム関田

使用済み廃棄予定砥石

黄色い部分を利用し作成



内面研削砥石

	64期 実績
新品(円)	70,000
再製作(円)	30,000
差額(円)	40,000

購入費を40,000円削減

2024年度不具合低減活動実績報告

期間：　2024年02月～2025年01月（64期）

活動部署：製造部

テーマ　人的要因による不良件数の低減

活動目標　・人的要因による不具合　6件以内

活動結果

・一般部品	6件
・航空機部品	0件

目標達成

2025年度不具合低減活動計画

期間：　2025年02月～2026年01月（65期）

活動部署：製造部

テーマ

**製品毎に製造作業工程を明確にさせ、
人的ミスを発生させない。**

**活動目標　・製造作業工程に必要な手順書を作成する
12件以上**

活動内容

・製造工程作業表の作成
・作業手順書の作成
・プログラム、ツールリストの作成

環境関連法規の厳守状況

法規制等の名称	遵守事項
浄化槽法	・年4回の保守点検 ・年1回の11条検査
騒音規制法	・特定施設設置届け
振動規制法	・特定施設設置届け
廃棄物の処理及び清掃に関する法律	・産業廃棄物収集運搬及び処分業者 との契約書 ・マニフェスト管理及び交付状況報告管理
労働安全衛生法	・安全衛生委員会設置 ・その他
消防法	・消防設備の定期点検
フロン排出抑制法	・簡易点検 ・定期点検
群馬県の生活環境を保全する条例	・公害防止（騒音、振動）

※環境関連法規への違反はありません。なお、関係当局からの違反等の指摘はありません。

代表者による全体の評価と見直し・指示

・今期は社内稼働時間が増え社内生産高も増加しました。
来期では設備の増加も予定しており、稼働時間と生産高がさらに増えていく予定です。
今期も同様になりますが、不具合品の発生には十分気を付け、無駄な稼働時間が
発生しないよう徹底してください。

・太陽光発電が本稼働し、電気量の削減効果がありました。しかし今までと変わらず、
無駄な電気使用等がないように気を付けていくことが重要です。

・チームによるエコ活動も引き続き行っています。今後も省エネへの対応を進め、
エコ活動を活発化させ、廃棄物廃棄量の削減やコスト削減にも引き続き努めていきます。